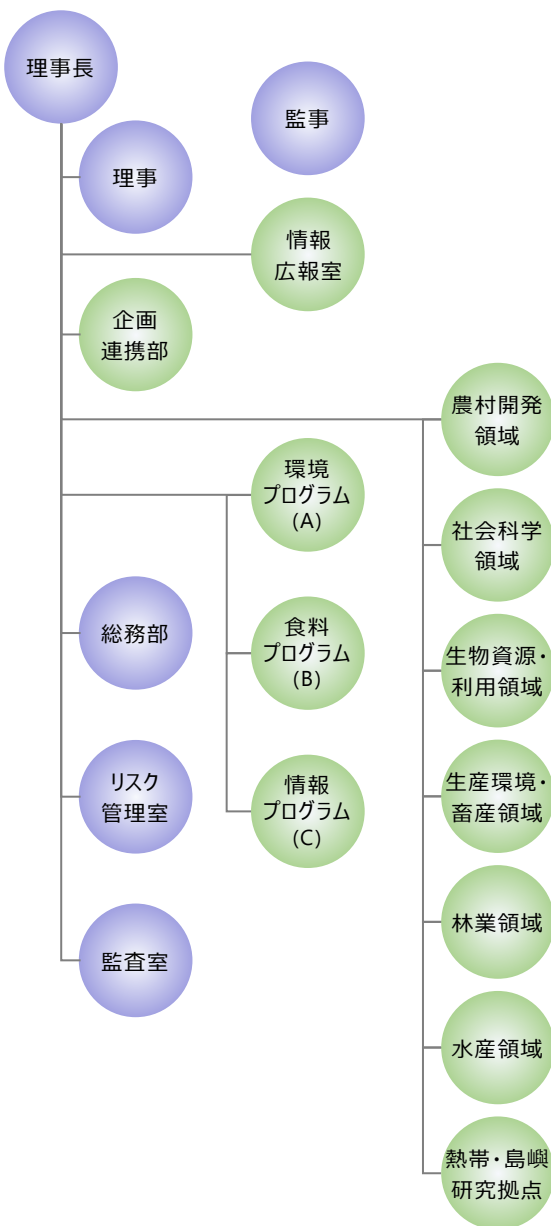


組織と業務推進体制



管理・運営
組織

業務推進
組織

第5期中長期計画
(令和3～7年度)

本所(つくば市)



熱帯又は亜熱帯に属する地域その他開発途上地域における農林水産業の研究を包括的に行う我が国唯一の研究機関として、開発途上地域の農林水産研究機関、国際農業研究機関等と連携・協力し、開発途上地域の農林水産技術の向上に貢献しています。

熱帯・島嶼研究拠点(石垣市)



亜熱帯・島嶼という気候条件、地理的条件を活かし、開発途上地域や熱帯・亜熱帯に適用できる農業生産技術の研究を行っています。国内唯一の亜熱帯下での国立研究開発法人の農業研究拠点として、大きな使命を担っています。

東南アジア連絡拠点(バンコク)



東南アジアにおける国際農研の活動拠点として、農林水産業研究に関する動向や、現地情報の収集・提供及び国際農研のプロジェクト活動等を支援しています。

予算	<令和3年度> (百万円)	役職員数	<令和3年4月1日> (人)
運営費交付金	3,605	役員	4
施設整備費補助金	0	一般職員	38
受託収入	305	技術専門職員	10
寄附金収入	0	研究職員	121
諸収入	2	特定任期付職員	1
計	3,911	計	174

本所

〒305-8686
茨城県つくば市大わし1-1

☎ 029-838-6313

✉ koho-jircas@ml.affrc.go.jp

🌐 <https://www.jircas.go.jp/>

熱帯・島嶼研究拠点

〒907-0002
沖縄県石垣市
字真栄里川良原1091-1

☎ 0980-82-2306

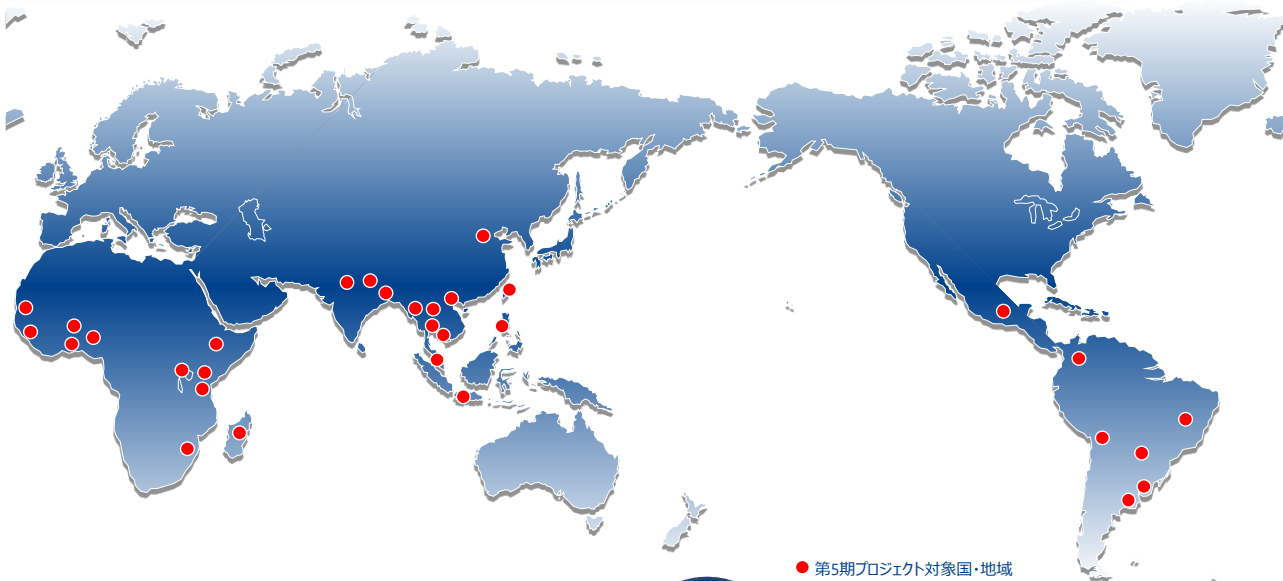
地球と食料の未来のために



国立研究開発法人
国際農林水産業研究センター

研究開発の効果的・集中的な実施

地球規模課題の解決に向け、気候変動の影響を軽減しつつ、
 環境に調和した強靱で持続的なシステムの構築を目指す取組や
 深刻な食料・栄養問題の解決のための生産性・頑強性向上に資する
 技術開発を強化するとともに、国際情勢の変化に応じ、
 アジア及びアフリカ地域を中心に対象地域の重点化を図ります。



センター機能の強化

複雑化・多様化する開発途上地域・熱帯亜
 熱帯地域の農林水産業と地球規模の食料
 システムに係る課題や開発ニーズに関する情
 報を多角的に収集・分析し、地球環境や食
 料問題に関するオピニオンリーダーとして、国
 内外に広く情報を発信し、センター機能を強
 化します。

情報

戦略的な国際情報の収集・分析・提供
 によるセンター機能の強化

- 戦略的情報収集分析提供
- 研究成果の実用化と事業展開を実現する民間連携モデルの構築
- サブサハラアフリカでの農業デジタル化推進に貢献するための研究開発可能性調査
- 熱帯性作物の持続的生産に向けた遺伝資源の情報整備と利用促進技術の開発および国内外との連携強化

環境

気候変動対策技術や資源循環・
 環境保全技術の開発

- 開発途上地域を対象とした農業分野の総合的気候変動対応技術の開発
- 農産廃棄物がもたらす地球規模課題の解決を目指したカーボンリサイクルを加速化する技術開発
- 生物的硝化抑制(BNI)技術の活用による低負荷型農業生産システムの開発
- 熱帯林遺伝資源の特性評価による生産力と環境適応性の強化
- 熱帯島嶼における山・里・海連環による環境保全技術の開発
- 砂漠化地域における極端気象下での持続的土地管理法の開発

食料

新たな食料システムの構築を目指す生
 産性・持続性・頑強性向上技術の開発

- レジリエンス強化作物とその生産技術の開発
- 在来作物遺伝資源や伝統食品を活用した新需要創造のための作物及び食品の開発
- 生態に基づく越境性害虫の環境調和型防除体系の構築
- 生態系アプローチによる熱帯域の持続的水産養殖技術開発及び普及
- アフリカのための稲作を中心とした持続的な食料生産システムの構築
- アフリカ小規模畑作農業の生産性・収益性・持続性を向上させる畑作システム支援ツールの構築に向けた技術開発